

日本地域政策学会 / 九州・沖縄支部設立記念フォーラム /

未来へ続く地域づくり—欧州と日本の眼差しから

九州・沖縄地域の大学、行政、企業・団体、市民が、共に新たな地域づくりへの挑戦について考えるフォーラムを開催します。九州各地そしてウィーン大学の日本学研究者も参加し、日本及び欧州の眼差しから、新たな地域政策のあり方について意見交換します。多くの学生、市民、行政、研究者の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：平成28年9月15日（木曜日） 午後1時～5時30分（12時30分開場）

場所：熊本大学・くすの木会館（黒髪北キャンパス）

入場無料

フォーラム（午後1時～5時30分）

進行 山下永子（九州産業大学）

- 1 「災害に強いまちづくりを目指した ICT 活用の実践報告」 辻 利則（宮崎公立大学）
- 2 「熊本における地方創生の現場」 田中尚人（熊本大学）
- 3 「九州内のエコタウン（環境と調和したまちづくり）承認3地域における成否の要因分析—地域創生への活用の視点から」 岩橋浩文（環境省国立水俣病総合研究センター）
- 4 「地方都市の公立高校における生徒数減少の要因分析—熊本県立菊池高等学校を事例として」

園田賢太郎（熊本県菊池市役所）

5 「ウィーン大学の阿蘇研究の過去、現在、未来：欧州から考える日本の農山村」

① 「Aso 1.0 の概要： 民俗学と 60 年代の阿蘇調査」 ヨハネス・ウィルヘルム講師（ウィーン大学）

② 「Aso 2.0 の展望： ウィーン流日本研究にとって、日本の農山村は、今なぜ大切なのか」

ヴォルフラム・マンツェンライター教授（ウィーン大学）

③ 「Aso 2.0 の諸相」

ヴォルフラム・マンツェンライター教授、バーバラ・ホルトス准教授、ラルフ・リュツェラー准教授、ヨハネス・ウィルヘルム講師、ハンナ・ラーブ（文部科学省研究留学生、ウィーン大学・東北大学大修士学生）ほか。

A. 地方の幸福度とソーシャル・キャピタル, B. 家族と福祉, C. 人口地理学,

D. 社会的脆弱性（レジリエンス）と資源管理論（コモンズ） E. 高齢者へのケア・サポート

参加申し込み方法（電話、FAX、メールで）

主催：日本地域政策学会・九州沖縄支部

事務局：熊本大学・政策創造研究教育センター

（上野研究室）

電話 096-342-2044

FAX 096-342-2042

mail : seisoken@kumamoto-u.ac.jp

熊本大学へのアクセス
通町、交通センターから、
産交バス、電鉄バスで「熊
本大学前」へ（子7、子1）。
子飼橋からは、徒歩10分。

